

かわらだ ひろこ 川原田弘子 ニュース

2017年7月発行



議場コンサートの様子
県立西宮高校の脇坂颯
さんのフルート演奏



開会式に出席しました



♪～花咲き匂える 文化の都・神戸～♪

「花咲き匂える文化の都」は、「神戸市歌」の歌詞の3番に登場するフレーズです。6月議会は、議会開始前の15分間、議場でミニコンサートからスタートしました。演奏者には、神戸国際フルートコンクールに最年少で出場し、1次審査を通過、奨励賞を受賞された県立西宮高校の脇坂颯さんをお迎えし、神戸市室内合奏団のご協力の下、チェロ、バイオリンを交え、フルートの音色が議場に響きわたりました。続いて、神戸市混声合唱団の合唱による神戸市歌が披露されました。第9回の神戸国際フルートコンクールは市民音楽祭として街角にフルートの音色が流れました。お出かけの際にフルートの演奏に出遭われた皆さんも多いかと思います。産業がまさに時代に羽ばたきながらも、花咲き匂える文化の都をこれからも継承できるような議会でありたいと願っています。

神戸市歌

1.朝雲(あさぐも)あがり 光のうずに
伸びゆくいらかの 虹こそかかれ
伝統つとに時代に先駆く
絵巻とひろがる 歴史の都
栄(は)えあれ神戸 神戸 神戸
われらひらん

2.潮の香揺れひく 汽笛のすえに
七つの海原 幸(さち)よぶかどで
躍進しようぞ 時代に勢(きお)えり
名だたる海港 世界の都
栄(は)えあれ神戸 神戸 神戸
われら興(おこ)さん

3.山脈(やまなみ)明かれり 呼交う声に
こころもはずみて いそしむところ
産業まさに 時代に羽ばたく
花咲き匂える 文化の都
栄えあれ神戸 神戸 神戸
われらたたえん



～議場コンサートの様子～神戸市混声合唱団による神戸市歌の合唱

色々あったフルートコンクールですが...

第9回のコンクールは開催できるかどうか不安な状況でしたが、篤志家の方より多大なご寄附をいただき、またコンクール継続を望む市民、音楽関係者、企業の方々のご協力により、コンクール決勝は満席となるなど、これまでにない盛り上がりを見せました。「文化の都」神戸も、創っていくのは市民と実感しました。

ご相談は
こちらに



〒655-0034 神戸市垂水区仲田 3-1-8-202
(垂水支部) 神戸市会議員 川原田弘子事務所
TEL&FAX 078-709-8998
e-mail: happy@hiroko-club.com
URL: <http://www.hiroko-club.com>

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
編集・発行 民進こうべ政策議員団
TEL 078-322-5844
FAX 078-322-6161

～第9回神戸国際フルートコンクールが盛会裏に終了しました！！～

神戸国際フルートコンクールとは？

沿革

- 1985 第1回神戸国際フルートコンクール開催
- 1987 国際音楽コンクール世界連盟に加盟
- 1989 第2回神戸国際フルートコンクール開催
- 1993 第3回神戸国際フルートコンクール開催
- 1997 第4回神戸国際フルートコンクール開催
- 2001 第5回神戸国際フルートコンクール開催
- 2005 第6回神戸国際フルートコンクール開催
- 2009 第7回神戸国際フルートコンクール開催
- 2013 第8回神戸国際フルートコンクール開催
- 2015 多くの方々からのサポート、寛大な寄付を得て、第9回大会開催が決定。

2017 第9回神戸国際フルートコンクール開催

フルートコンクールは、今から32年前にスタートしています！！

「神戸国際フルートコンクール」は、1985年の創設以来、世界の有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛躍させるとともに音楽を通じて国際交流と友好親善を図ることに加え、「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進することを目的として4年毎に開催しています。本コンクールは国際音楽コンクール世界連盟に日本から初めて加盟し(1987年)、フルートに特化した世界でも稀な国際コンクールです。

～神戸国際コンクールホームページより～

神戸国際フルートコンクールの始まり

元神戸市民文化振興財団理事長 町本欣信氏



当時(35年ほど前)神戸市では新たな文化施策として、神戸から世界の楽壇に飛躍を目指す人材の発掘・育成と、音楽を通じて国際都市神戸の知名度の向上、国際交流の推進などを図る事業ができないか模索していました。その一つが、フルートの国際コンクールだったのです。その主な理由は、フルートは日本人に大変親しまれている楽器で、愛好家人口も多いこと、また当時世界でフルート単独の著名な国際コンクールは数少なく、後発でも国際的に評価され得る可能性があったこと、そして神戸育ちの世界的フルーティスト金昌国氏の存在などです。

そんな折、1985年に神戸市で学生のスポーツの祭典「ユニバーシアード」が開催されることになり、文化の祭典でもあるということで実行委員会が組織され、事業内容が検討される中で、実行委員会の妹尾美智子氏(神戸市婦人団体協議会専務理事)から「文化の面でも若い人達が競い合える事業で、将来に遺せるものが何かできませんか」との発言を受け、以前から検討を重ねていたフルートコンクールの素案を事務局から提案したのです。

幸いに実行委員会の賛同を得、最終的に宮崎辰雄市長の英断で、国際フルートコンクールの開催が正式決定されたのです。

開催に際しては、吉田雅夫氏(日本フルート協会会長)、金昌国氏(東京芸術大学助教授)、吉田貴壽氏(日本演奏連盟専務理事)のご尽力と、神戸在住の世界的指揮者朝比奈隆氏をはじめ多くの方々のお力添えを得て、神戸国際フルートコンクールが始まりました。

～「第9回神戸国際フルートコンクール公式ガイドブック」より引用～

コンクール入賞者の皆さん～神戸国際フルートコンクール H.P.より引用～

第1位



エレヌ・ブルゲ
Helene BOULEGUE
フランス



第1位



ユ・ユアン
YU Yuan
中国



第3位



マリアンナ・ゾナック
Marianna Julia ZOLNACZ
ポーランド



第3位



ハン・ヨジン
HAN Yeo Jin
韓国



第3位



アンナ・コンドラシナ
Anna KONDRASHINA
ロシア



第4位



秋元 万由子
AKIMOTO Mayuko
日本



奨励賞



脇坂 颯
WAKIZAKA Fu
日本



奨励賞



キム・ソヒョン
KIM Seo Hyeon
韓国

